



平成23年11月9日

各 位

株式会社マーベラス AQL
代表取締役社長 許田 周一
(コード:7844 東証第二部)
上席執行役員 経営戦略室管掌 染野 正道
電話番号 03-5769-7447 (代)

消滅会社（株式会社AQインタラクティブ）に関わる決算開示について

当社は、本年10月1日を効力発生日とし、株式会社AQインタラクティブ及び株式会社ライブウェアと合併し、「株式会社マーベラス AQL」として発足いたしました。消滅会社であります株式会社AQインタラクティブの平成24年3月期第2四半期決算短信（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）について、添付の通りお知らせいたします。

なお、株式会社ライブウェアにつきましては、非上場会社のため決算数字の開示は行っておりません。

記

・株式会社AQインタラクティブ 平成24年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

以上



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社マーベラスAQL（旧 株式会社AQインタラクティブ）

コード番号 7844/URL <http://www.maql.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）許田 周一

問合せ先責任者（役職名）上席執行役員 経営戦略室管掌 （氏名）染野 正道

TEL 03-5769-7447

配当支払開始予定日 平成23年12月12日

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結営業成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,989	10.9	394	△ 46.7	388	△ 44.2	258	8.9
23年3月期第2四半期	3,598	23.8	739	—	696	—	237	—

（注）包括利益 24年3月期第2四半期 266百万円（19.2％） 23年3月期第2四半期 223百万円（－％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4,748.01	4,747.23
23年3月期第2四半期	4,364.99	4,359.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,919	6,944	87.7
23年3月期	8,235	6,878	83.5

（参考）自己資本 24年3月期第2四半期 6,944百万円 23年3月期 6,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3,700.00	3,700.00
24年3月期	—	1,200.00			
24年3月期（予想）					

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

※株式会社AQインタラクティブは平成23年10月1日を合併期日として、株式会社マーベラスエンターテイメント（現 株式会社マーベラスAQL）及び株式会社ライブウェアと合併し消滅いたしました。合併後の業績予想につきましては、存続会社であります株式会社マーベラスAQLの当該事項に記載しておりますのでご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細につきましては、3頁2.サマリー情報(その他)に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」に記載しておりますのでご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	54,525 株	23年3月期	54,505 株
24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期2Q	54,517 株	23年3月期2Q	54,445 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループが属するエンターテインメント業界におきましては、スマートフォン（高性能携帯電話）の急速な普及を背景に、9月に開催されました「東京ゲームショウ」でもブースが多数出展される等、ソーシャルゲーム市場が大きく拡大いたしました。また、携帯電話やパソコンを利用し、短時間かつ安価で始められるオンラインゲーム市場におきましても、手軽さが人気を集め引き続き盛り上がりを見せております。

一方、家庭用ゲーム市場におきましては、携帯型ゲーム機や据え置き型ゲーム機などを中心とする次世代機が発売され期待感が高まるものの、依然として伸び悩みをみせております。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は以下の通りです。

①売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は、アミューズメント事業におきまして、平成23年1月に株式会社マイクロキャビンが連結対象から外れ受託開発部門がなくなったこと等による減収要因があったものの、ネットワークコンテンツ事業が好調に推移し全体の収益に貢献いたしました。その結果、前年同期に対し売上高390百万円増加（前年同期比10.9%増）の3,989百万円となりました。

②営業利益

当第2四半期連結累計期間の営業利益は、コンシューマゲーム事業におきまして、開発中タイトルの収益計画の見直しを行い、373百万円の費用化を行ったことが大きな要因となり、前年同期に比べ345百万円減少（前年同期比46.7%減）の394百万円となりました。

③経常利益

当第2四半期連結累計期間の経常利益は、上述のとおり営業利益が要因し前年同期に比べ308百万円減少（前年同期比44.2%減）の388百万円となりました。

④四半期純利益

当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は、平成23年8月1日を効力発生日として行いました子会社3社の吸収合併に伴い、子会社で発生していた繰越欠損金に対する繰延税金資産を認識したことで、法人税等の負担が軽減されたことにより前年同期に比べ21百万円増加（前年同期比8.9%増）の258百万円となりました。

また、セグメントの業績は、次のとおりです。

<ネットワークコンテンツ事業>

ネットワークコンテンツ事業につきましては、平成21年7月よりサービスを開始しましたブラウザゲーム「ブラウザ三国志」が計画を上回る好調さで推移し、収益に大きく貢献しました。また、ブラウザゲーム「ブラウザプロ野球」につきましても売上高、ID数ともに堅調に伸長し収益に寄与しました。一方で、不採算タイトルの清算や、新規開発に係る研究開発費の計上等により利益面は若干の増加となりました。

上記の結果、ネットワークコンテンツ事業につきましては、売上高2,427百万円（前年同期比52.2%増）、セグメント利益956百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

<コンシューマゲーム事業>

コンシューマゲーム事業につきましては、任天堂3DS専用ソフト「Cubic Ninja」、株式会社マーベラスエンターテインメントとの共同事業による「アニマルリゾート動物園をつくろう！！」の2タイトルを発売し、受託開発におきましても開発が順調に進みました。しかしながら、上述のとおり開発中タイトル373百万円の費用化を行ったことから前年同期に比べ増収減益になりました。

上記の結果、コンシューマゲーム事業につきましては、売上高1,081百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント損失353百万円（前年同期は34百万円の損失）となりました。

<アミューズメント事業>

アミューズメント事業につきましては、受託開発部門の株式会社マイクロキャビンが連結対象外になったことにより減収減益になったものの、ポケモンバトルオ事業において新弾パック「ポケモンバトルオV-01弾」の発売を行ったことが収益面に大きく貢献いたしました。

上記の結果、アミューズメント事業につきましては、売上高480百万円（前年同期比48.8%減）、セグメント利益124百万円（前年同期比19.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては、前連結会計年度末に比べ315百万円減の7,919百万円となりました。主な要因は、仕掛品の減少及び有価証券の減少によるものです。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ381百万円減の975百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少によるものです。純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ66百万円増加し、6,944百万円となりました。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,401,475	3,571,815
受取手形及び売掛金	1,133,640	1,428,045
有価証券	1,831,058	1,150,698
商品及び製品	42,131	13,488
仕掛品	506,501	84,797
原材料及び貯蔵品	1,628	913
繰延税金資産	204,241	203,457
その他	193,126	508,459
貸倒引当金	△81,953	△74,923
流動資産合計	7,231,851	6,886,750
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	118,047	108,785
工具、器具及び備品(純額)	98,779	73,164
有形固定資産合計	216,826	181,949
無形固定資産		
ソフトウェア	94,252	136,901
ソフトウェア仮勘定	71,848	184,198
その他	458	458
無形固定資産合計	166,559	321,559
投資その他の資産		
投資有価証券	461,346	371,522
敷金及び保証金	153,873	154,202
繰延税金資産	4,498	3,439
破産更生債権等	17,004	15,328
その他	73	414
貸倒引当金	△17,004	△15,328
投資その他の資産合計	619,791	529,578
固定資産合計	1,003,178	1,033,087
資産合計	8,235,029	7,919,837

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	245,630	373,464
短期借入金	74,835	38,315
未払法人税等	457,862	141,274
引当金	35,963	11,505
その他	506,618	374,272
流動負債合計	1,320,909	938,832
固定負債		
資産除去債務	35,613	35,898
繰延税金負債	267	381
固定負債合計	35,881	36,280
負債合計	1,356,790	975,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,200,571	3,201,171
資本剰余金	2,874,426	2,875,026
利益剰余金	832,621	889,800
株主資本合計	6,907,618	6,965,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,420	34
為替換算調整勘定	△27,958	△21,307
その他の包括利益累計額合計	△29,379	△21,272
純資産合計	6,878,239	6,944,724
負債純資産合計	8,235,029	7,919,837

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,598,744	3,989,509
売上原価	1,592,606	2,040,198
売上総利益	2,006,137	1,949,311
販売費及び一般管理費	1,266,697	1,554,967
営業利益	739,440	394,343
営業外収益		
受取利息	5,460	12,450
受取配当金	91	—
その他	4,292	6,023
営業外収益合計	9,844	18,473
営業外費用		
支払利息	2,064	562
為替差損	42,432	19,871
投資有価証券評価損	2,885	—
リース解約損	4,952	2,116
その他	—	1,443
営業外費用合計	52,335	23,994
経常利益	696,948	388,822
特別利益		
固定資産売却益	3,131	—
貸倒引当金戻入額	400	—
特別利益合計	3,531	—
特別損失		
固定資産売却損	541	—
固定資産除却損	444	—
開発中止損	157,892	—
特別退職金	66,889	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,414	—
特別損失合計	229,182	—
税金等調整前四半期純利益	471,298	388,822
法人税、住民税及び事業税	238,866	129,975
法人税等合計	238,866	129,975
少数株主損益調整前四半期純利益	232,432	258,847
少数株主損失(△)	△5,219	—
四半期純利益	237,651	258,847

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	232,432	258,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,080	1,455
為替換算調整勘定	△6,394	6,651
その他の包括利益合計	△8,474	8,106
四半期包括利益	223,957	266,954
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,816	266,954
少数株主に係る四半期包括利益	△5,858	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2.
	ネットワー クコンテン ツ事業	コンシューマ ーゲーム事業	アミューズメ ント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,594,878	1,063,875	939,989	3,598,744	—	3,598,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,594,878	1,063,875	939,989	3,598,744	—	3,598,744
セグメント利益又は損失 (△)	922,506	△34,803	154,065	1,041,768	△302,328	739,440

(注) 1. セグメント利益の調整額△302,328千円には、のれんの償却額△29,052千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△273,275千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1.	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2.
	ネットワー クコンテン ツ事業	コンシューマ ーゲーム事業	アミューズメ ント事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,427,328	1,081,231	480,950	3,989,509	—	3,989,509
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,427,328	1,081,231	480,950	3,989,509	—	3,989,509
セグメント利益又は損失 (△)	956,559	△353,980	124,679	727,258	△332,914	394,343

(注) 1. セグメント利益の調整額△332,914千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。